

幻の東京オリンピック (1940)

AMAZING TOYAMA

発掘現場から

文化力
POWER OF CULTURE



記念陶磁器展

平成 28 年度に富山市総曲輪三丁目地区市街地再開発事業（旧富山西武デパート跡隣接地）に伴い、発掘調査を実施したところ、近代の土坑などから大量の酒盃がみつかりました。

その中に昭和 15 年に開催される予定だった「幻の東京オリンピック」の記念酒盃が含まれていました。

当時、このような記念陶磁器について、どのような種類の製品が製作されていたのでしょうか。

これまでに確認できた記念陶磁器（伝世品）を一堂に展示し、アジア初のオリンピック大会開催の機運盛り上げに一役買っていた記念陶磁器の実態に迫ります。

酒盃のほかに、皿や湯呑み、注口容器などを確認しました。



オリンピック汁次（注口容器）

（聖火をモチーフにした注ぎ口が付きます）
底部に店名や商品名など「印」が入ったものもあります。今のノベルティグッズのようです。



出土した酒盃（左上の完形品のみ伝世品）

出土した酒盃は、令和元年度の『発掘された日本列島 2019 新発見考古速報』展（文化庁主催）で全国 5 か所の博物館などで巡回展示されました。



展示期間:令和 3 年 7 月 22 日(木・祝)から

11 月 14 日(日)まで（会期中無休）

※会期は 9 月 26 日までの予定でしたが延長いたします。

展示会場:富山市民俗民芸村 考古資料館

（富山市安養坊 47-2 ☎ 076-433-8634）

開館時間:9 時～17 時(入館は 16:30 まで)

観覧料金:大人 100 円、高校生以下無料

問 合 せ :富山市教育委員会 埋蔵文化財センター

(☎ 076-465-2146)